

おとめの問題

A

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「とく」と取り調べ役が呼んだ。とくは姉や兄が順序に呼ばれたので、今度は自分が呼ばれたのだと気がついた。そしてただ目をみはって役人の顔を仰ぎ見た。

「おまえも死んでもいいのか。」

とくは黙って顔を見ているうちに、唇に血色がなくなつて、目に涙がいつぱいたまつてきた。

「初五郎。」と取り調べ役が呼んだ。

ようよう六歳になる末子の初五郎は、これも黙って役人の顔を見たが、

「おまえはどうじゃ、死ぬるのか。」と問われて、活発にかぶりを振つた。

書院の人々は覚え、それを見てほえんだ。

この時佐佐が書院の敷居際まで進み出て、「いち。」と呼んだ。

「はい。」

「おまえの申し立てにはうそはあるまいな。もし少しでも申ししたことにまぢがいがあつて、人に教えられたり、相談をしたりしたのなら、今すぐに申せ。隠して申さぬと、そこに並べてある道具で、誠のことを申すまで責めさせるぞ。」佐佐は責め道具のある方角を指さした。

「いち」はさされた方角をひと目見て、少しもたゆたわずに、「いえ、申ししたことにまぢがいはございません。」と言い放つた。その目は冷ややかに、その言葉は静かであった。

「そんなら今一つおまえに聞くが、身代わりをお聞き届けになると、おまえたちはすぐに殺されるぞよ。父の顔を見ることはできぬが、それでもいいか。」

「よろしゅうございます。」と、同じような、冷やかな調子で答えたが、

少し間をおいて、何か心に浮かんだらしく、「お上のことにはまぢがいはございませんまいから。」と言ひ足した。

佐佐の顔には、不意打ちにあつたような、驚愕の色が見えたが、それはすぐに消えて、険しくなつた目が、いちの面に注がれた。憎悪を帯びた驚異の目でも言おうか。しかし佐佐は何も言わなかつた。

次いで佐佐は何やら取り調べ役にささやいたが、まもなく取り調べ役が町年寄に、「ご用が済んだから、引き取れ。」と言ひ渡した。

白州を下がる子どもを見送つて、佐佐は太田と稲垣とに向いて「生い先の恐ろしい者でござりますな。」と言つた。心のうちには、哀れな孝行娘の影も残らず、人に教唆せられた、愚かな子どもの影も残らず、ただ氷のように冷ややかに、刃のように鋭い、いちの最後の言葉の最後の一句が反響しているのである。元文頃の徳川家の役人は、もとより「マルチリウム」という洋語も知らず、また当時の辞書には猷身という訳語もなかつたので、人間の精神に、老若男女の別なく、罪人太郎兵衛の娘に現れたような作用があることを、知らなかつたのは無理もない。しかし猷身のうちに潜む反抗の矛先は、いちと言葉を交えた佐佐のみではなく、書院にいた役人一同の胸をも刺した。

〔森鷗外「最後の一句」より〕

□(1) 線①「書院の人々は覚え、それを見てほえんだ」のはなぜですか。初五郎の様子がよくわかるように書いて答えなさい。

Blank writing area for question 1.

□(2) 線②「人に教えられたり、相談をしたりした」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

Blank writing area for question 2.

□①「人に教えられたり、相談をしたりした」とすれば、佐佐の心には、いちはどんな娘として浮かぶことになりますか。本文中から十五字（読点も字数に数えます）で書き抜いて答えなさい。

Blank writing area for question 2-1.

□②「人に教えられたり、相談をしたりした」のでなければ、佐佐の心にはいちはどんな娘として浮かぶことになりませんか。本文中から六字で書き抜いて答えなさい。

Blank writing area for question 2-2.

□(3) 線③「いち」はさされた方角をひと目見て」とありますが、ここから読み取れるいちの心情として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
ア 責め道具の恐ろしさに、つい今までの経歴の中のみぢがいを白状しそうになる気持ち。
イ どれほど責められても、自分の申し立てには少しのみぢがいがいもないという一途な気持ち。
ウ 恐ろしい責め道具を見せられて、幼い妹弟を巻きこんだことを後悔する気持ち。
エ 責め道具のあまりの恐ろしさに、そこにいつまでも目を向けていられない気持ち。

Blank writing area for question 3.

□(4) 線④「お上のことにはまぢがいはございませんまいから」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

□①「ここでの「まぢがいがい」とは具体的にどのようなことですか。「父」「子どもたち」という言葉を必ず用いて、四十字以内（句読点も字数に数えます）で書いて答えなさい。

す）で書いて答えなさい。

Blank writing area for question 4.

□② この言葉を聞いた佐佐の表情を二点にまとめて書いて答えなさい。

Blank writing area for question 4-2.

□③ この言葉は、佐佐の心には、どのような言葉として残りましたか。本文中の言葉を用いて、書いて答えなさい。

Blank writing area for question 4-3.

□④ この言葉を聞いた佐佐は、周囲の人々にいちをどのような人物として話していますか。本文中から九字で書き抜いて答えなさい。

Blank writing area for question 4-4.

□(5) 線⑤「罪人太郎兵衛の娘に現れたような作用」とありますが、この「作用」の内容を表す言葉を、本文中から六字で書き抜いて答えなさい。

Blank writing area for question 5.